

セチュラの風だより

2019年11月 第八号



JICA 視察の旅について！！

西島 将 (Nishijima Tadashi)

山の木々が美しく色づき、紅葉を楽しむ行楽のシーズンとなりましたね。今回は、9月2日から11日に行われた協力隊を育てる会主催の「JICA 視察の旅」について紹介したいと思います。両親が首都リマと任地セチュラを訪問し、セチュラでは郡役所と学校の見学を行い、同僚家族へ日本文化を紹介しました。

地元のニュースが授業中に！？

セチュラの3つの小中学校で環境教育を行い、その様子を両親が見学しました。授業では、保育士の母親が生徒達に折り紙を教える場面や、職場では、セチュラ郡長と同僚、両親が話しスペイン語で私が双方の内容を通訳する場面もありました。

また、以前から交流のある地元のニュース番組が授業をサプライズで取材してくれ、活動や授業について約10分間ニュース内で紹介してくれました。両親に活動を体験してもらう事が出来ました。



私は現在同僚の ESTELA さんのお宅でご飯を食べさせてもらい、お世話になっています。

家族は、3世代で暮らしており2人の子供がいます。ペルーの弟・妹として、スペイン語や日本語を一緒に学んでいます。日本の文化をより知ってもらうために、子供達には浴衣と甚平、家族には、日本食(寿司・カレー・ラーメン・納豆等)を作り、お菓子をプレゼントしました。みんな喜んでいましたが、納豆は苦手みたいです・・・。

そのお礼に、子供達がスペイン語の挨拶やペルー北部の伝統舞踊(マリネラ)を両親に教えてくれました。

「視察の旅」は大変充実したものになりました。



日系マラソンに参加しました！

日本とペルーの友好120周年の記念で9月15日(日曜)に首都リマで行われた NIKKEI RUN (10K)に JICA 関係者と協力隊員の10人で参加しました。

以前、同期通信で記載した「2年間のうちにペルーのマラソンに出て日本の国旗を持って写真を撮る」という目標が達成でき嬉しかったです。日系3世の人達が琉球太鼓を用いて日本語で「あと少し、頑張れ」と声援をくれ、日本とペルーの友好関係を改めて実感する事が出来ました。

